

仮想アース Crystal E の導入(25)(HP 収載) ーデジタルレコーダー

1. 始めに

前報(24)に引き続き、仮想アース Crystal E の導入について検討していきます。

2. Crystal E の試聴方法

アース端子のない機器において RCA 端子に仮想アース Crystal E を接続する方法は、Crystal E 付属の RCA プラグ M4Y 端子ケーブルを用いて下記において実施してきました。

前報(16) SA11-S2

前報(17) ExPro SV-1

今回、同じくアース端子のないデジタルレコーダーである TASCAM DA-3000 について検討します。DA-3000 は Sonica DAC のアナログ信号を受けて DSD に変換し、SDIF で Brooklyn DAC+に送ります。

Sonica DAC→DA-3000→Brooklyn DAC+

DA-3000 は、アナログ入力端子とアナログ出力端子に RCA 端子がありますので、今回はアナログ入力端子に RCA プラグ M4Y 端子ケーブルを用いて Crystal E を接続しました。なお、Brooklyn DAC+用の Crystal E を使用しましたので、Brooklyn DAC+には、前報(18)の仮想アース製作品を使用します。また、300B アンプから FAL C90EXW へのスピーカーケーブルの途中には、前報(18)で制作した仮想アースを接続しています。



音源は DA-3000 を経由するデジタル音源で次のようなものです。

BPODC では、ロレンツォ・ヴィオッティ指揮ベルリンフィルによるマーラーの交響曲

第3番とキーシン（ピアノ）とヤンソンス指揮ベルリンフィルによるリストのピアノ協奏曲第1番です。

DMR-UBZ1録画では、2022年8月19日放映の新倉瞳のチェロリサイタルを再生します。

3. Crystal E の試聴結果

まず、現状のアースなしの状態では聴いておき、ついで Crystal E の効果を確認していきます。

マーラーの交響曲第3番では、Crystal E を接続しますと、さほど顕著ではありませんが、全般に音の分離が向上し、とりわけホルンやトロンボーンやファゴットの合奏部分が明瞭になり、ベルリンフィル大ホールに響く低音がクリアーになってきます。

リストのピアノ協奏曲第1番では、Crystal E を接続しますと、さほど顕著ではありませんが、全般に音の分離が向上し、とりわけスタンウェイの打鍵がクリアーになり、左手の音の沈み込みの迫力が増してきます。

新倉瞳のチェロリサイタルでは、Crystal E を接続しますと、チェロのボウイングやヴィブラートが明瞭になり、さほど顕著ではありませんが、伴奏のベーゼンドルファーの響きがクリアーになってきます。

4. まとめ

DA-3000 経由のデジタル音源再生において、さほど顕著な効果とは言えませんが、Crystal E の接続の効果を確認しました。

以上